

タイズとツェダカ

豊かさが巡る構造

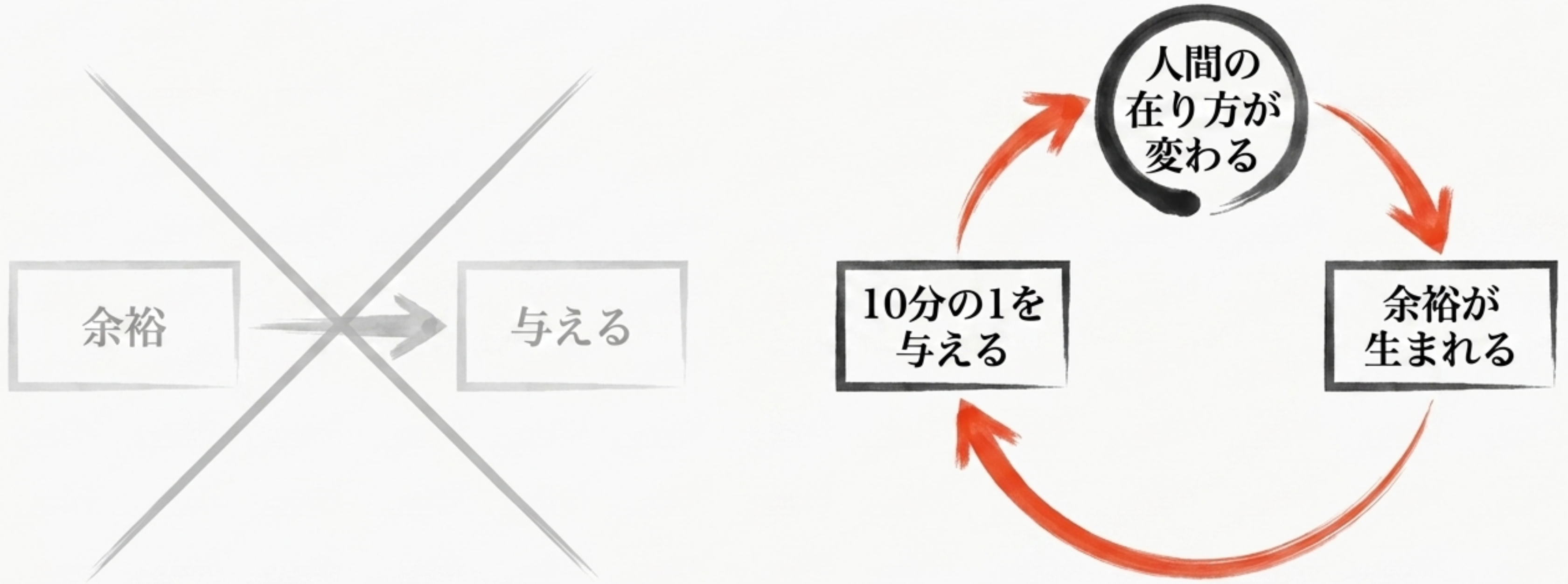


世界の富の共通点

「与える者が富む」



タイズ (Tithe) : 10分の1の思想



✕ 余裕があるから与える

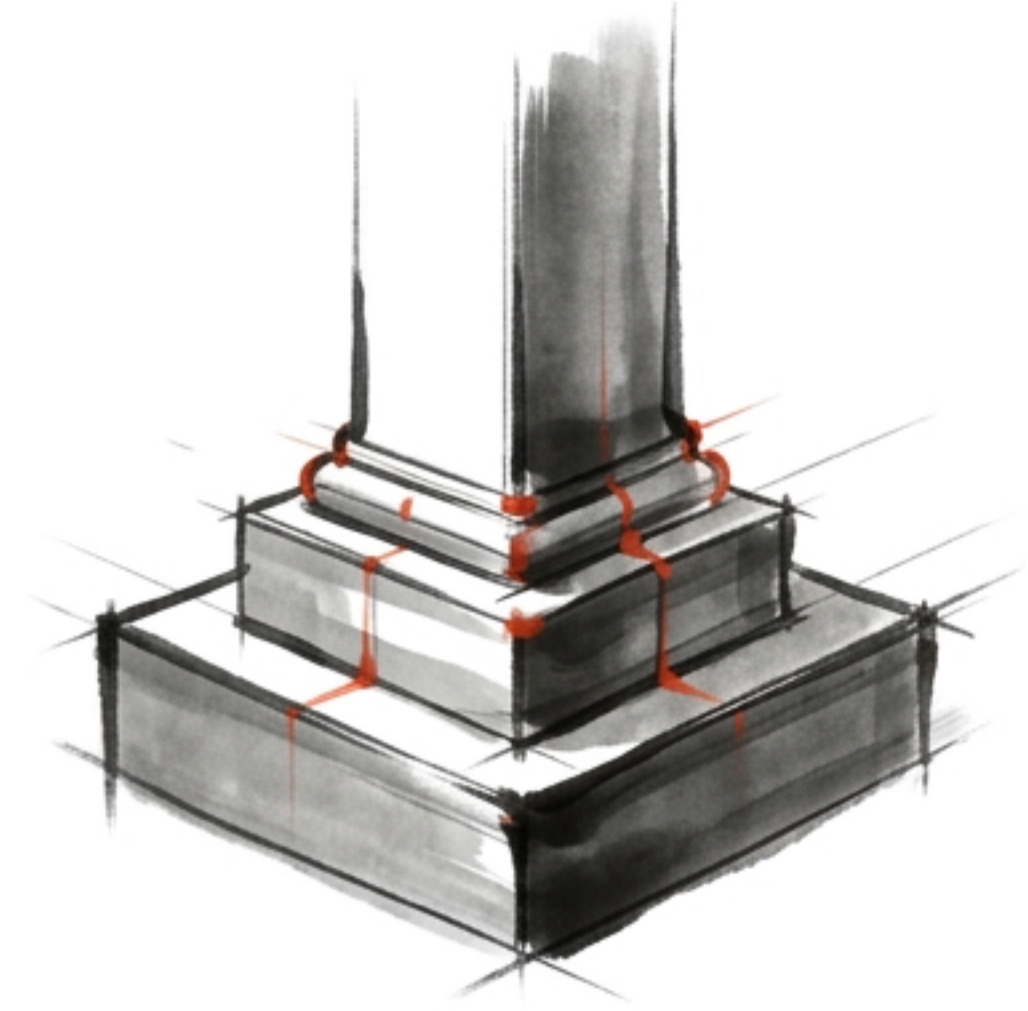
○ 与えるから余裕が生まれる

余裕がない時から行うことに意味がある。順番の理解が、人生の分岐点。

ツェダカ (Tzedakah) とは

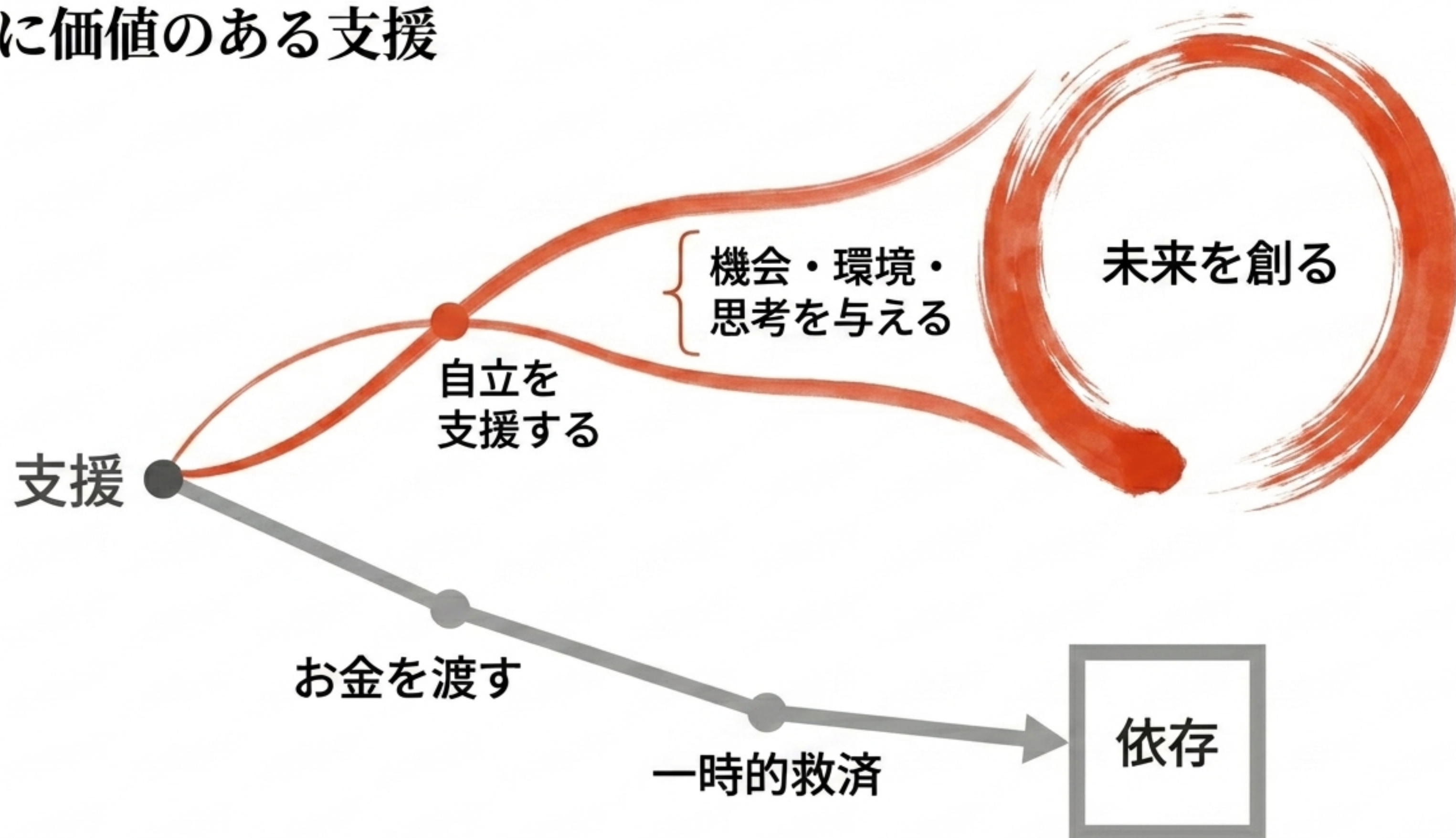


単なる「寄付」や
「善意」ではない。

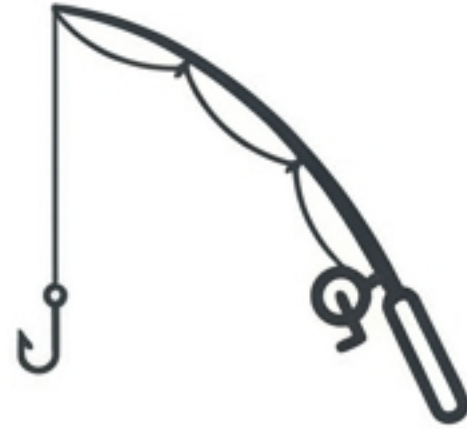


「正義」としての施し。
本来あるべき分配であり、
責任と義務。

本当に価値のある支援



ツェダカの本質：依存を生まない支援

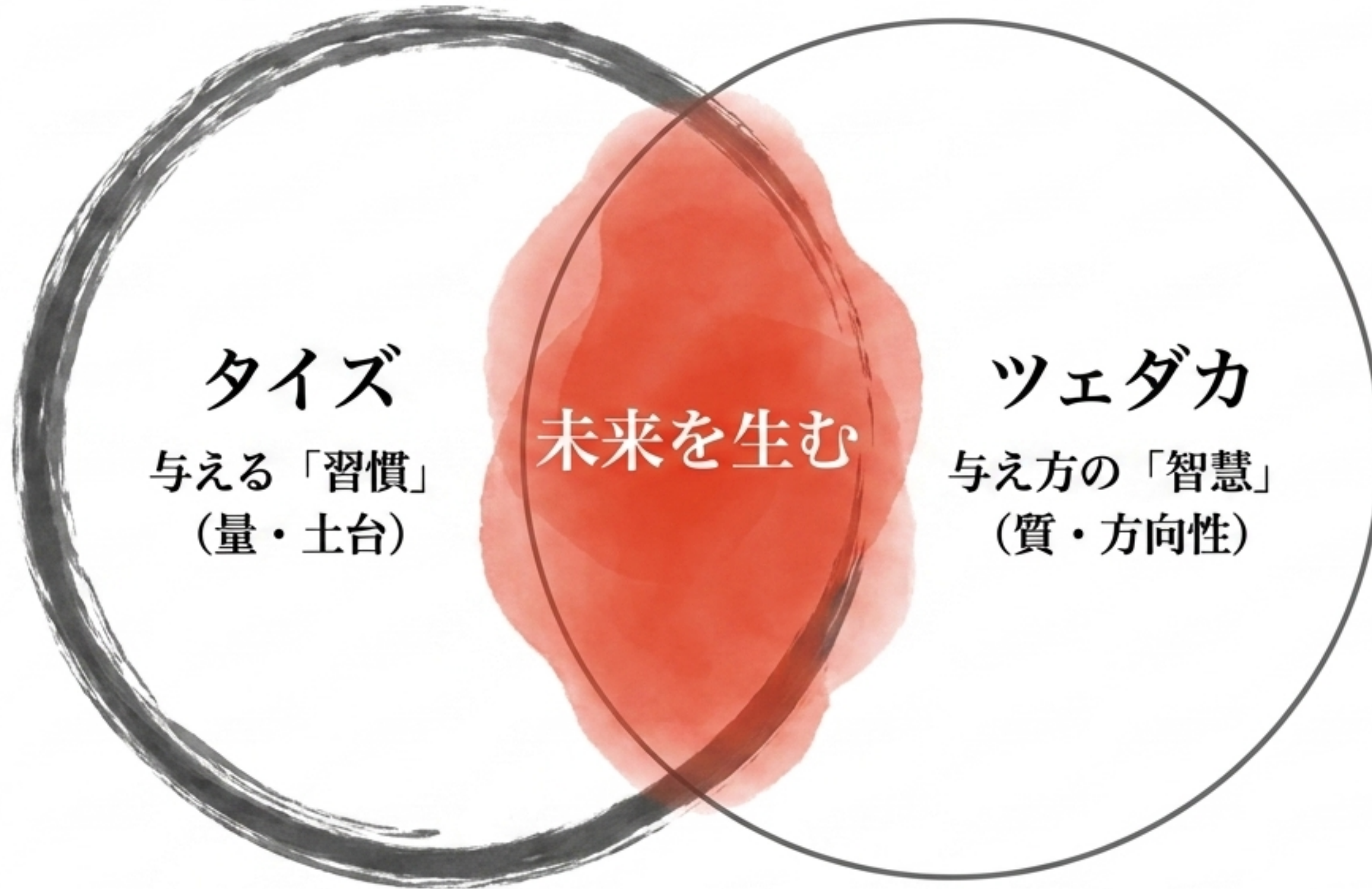


魚を与えるのではなく、

釣り方を与える。

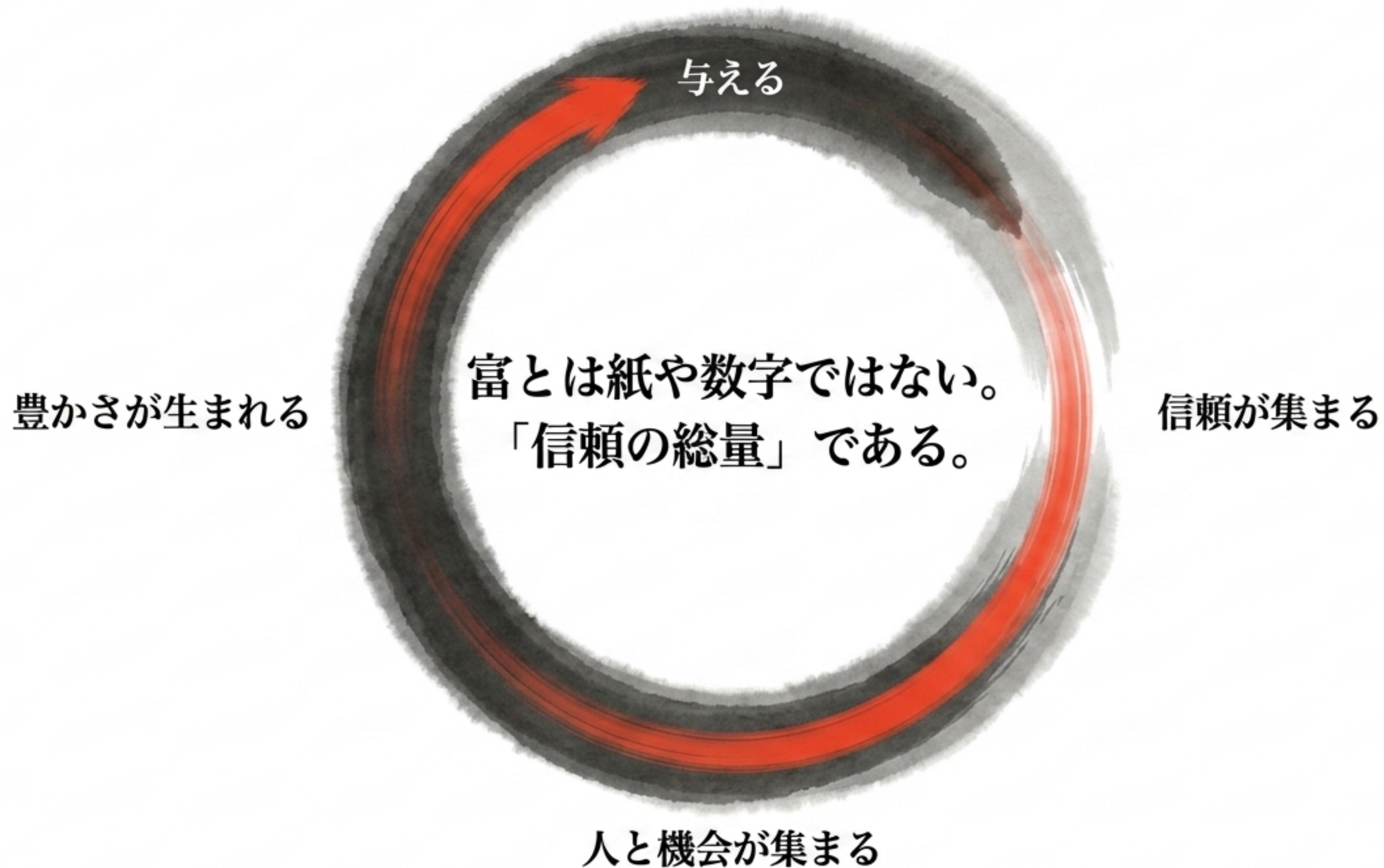
さらに、魚の味を伝え、
共に食べる喜びまで伝える。

タイズとツェダカの融合



自分の利益だけで動かない強さ。結果として、富が集まる。

なぜ富が集まるのか



現代社会との対比

損得思考

減らさない・逃れる・払いたくない

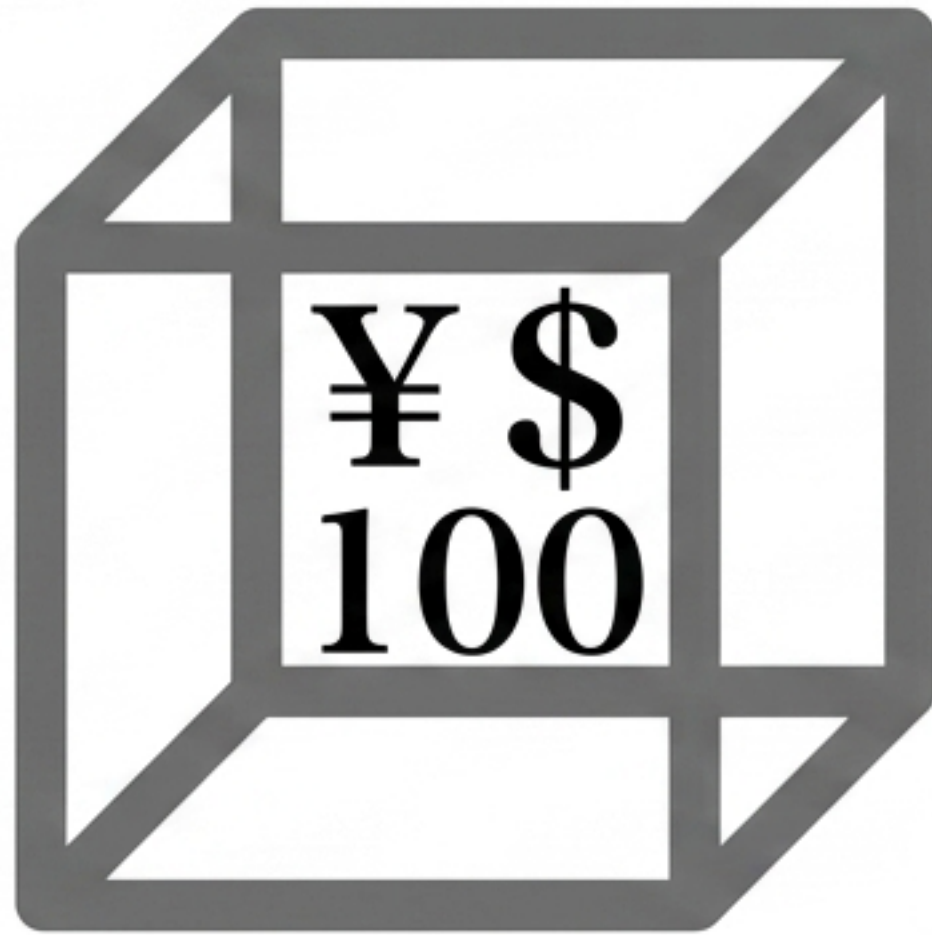


循環思考

還元する・循環させる・価値を返す

払うことを「損」と見るか、「循環」と見るか。ここで未来が変わる。

TAOISMで見るお金の本質



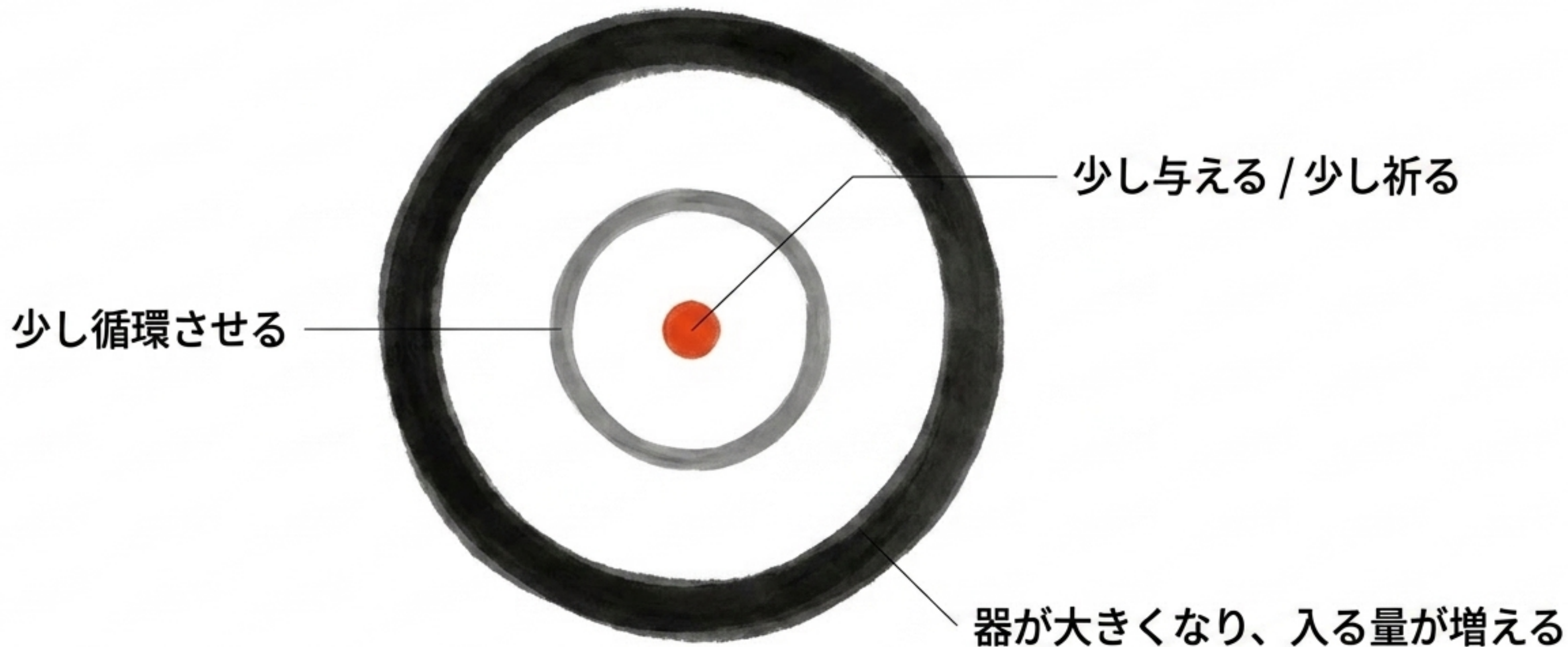
止まるお金 = 腐る



巡るお金 = エネルギー

お金は単なる数字ではない。タイズは意図的に流れを作る行為。ツェダカはその流れの質を高める行為。

小さく始める：器が大きくなる流れ



「余裕ができたならやろう」では一生始まらない。小さな積み重ねが器を大きくする。

結び



お金を追う人



お金が巡る状態を作る人

卑しい発想で生きるのか、豊かな発想で生きるのか。
その選択が未来を決める。お金に生きる人ではなく、お金を生かす人へ。